

# 「新しい時代」を「生き抜く」ための国語の時間

( )年( )組( )番 氏名( )

ねらい：根拠を明確にした考えをもち、人間や社会について考えを巡らせる中で、ものの見方や考え方を広げ深め、15歳の自分をつくる。

授業中に意識すること：

## 個人の時間

- ◆ 自ら問題解決に必要な情報を**集め整理**する。
- ◆ **根拠**を付け加えながら、**他の可能性**を踏まえて考える。
- ◆ **順序**よく、**立場**に応じて考えたり、表現したりする。

## 仲間との時間

- ◆ 他者の考えを聞き、自分の考えと**比較**し、**共通点**と**相違点**をとらえる。
- ◆ **要点**を絞ったり、一つに**まとめ**たりして伝える。

「故郷」の作品から生まれた素朴な疑問

「これから」を生きる次の世代が大事にすると良いことは何か

### 【テーマ設定の理由】

この作品は故郷が廃れ、そこに住む人の心も荒み、憧れだったルントウさえも変わってしまう哀惜感の漂う作品であるが、最後には「希望」という言葉が出てくる。そして、「まどろみかけた私の目に、海辺の広い緑の砂地が浮かんでくる。その上の紺碧の空に、金色の丸い月が懸かっている」という情景が描かれている。この情景は、昔のルントウを象徴する描写であったが、ここでは「新しい生活」の象徴である。だが、この「新しい生活」についてははっきりとは述べられていない。「私のよるに...願わない、また、ルントウのように...願わない、また、他の人のように...願わない」世か

- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 
- 

( )年 ( )組 ( )番 氏名 ( )

**グループ討議 メモ欄**

仲間との交流を終えて導き出した結論（自分のものの見方や考え方は、広げ深まりましたか）

---

---

---

---